

肝付町の状況

肝付町の人口は、現在14323人（2020年国勢調査）と言われていますが、2035年の人口予想は10065人、つまり、あと10年ほどで、今の人口の約3割にあたる4200人程が減少すると言われています。

全体的に人口が減少することに加え、特に働く世代、地域を支える世代は大きく減少すると言われています。

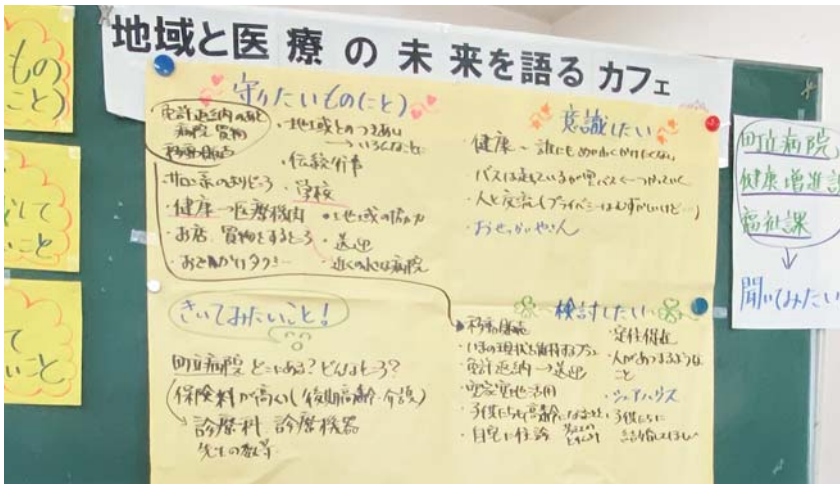
また、肝付町だけを見ると、現在、高山地区・内之浦地区・岸良地区の医療施設は合わせて

- 病院2カ所（うち公営1）
 - 有床診療所が2カ所
 - 無床診療所が4カ所
 - 僻地診療所が1カ所
- となっています。



全体的に人口が減るということは、サービスを提供するための労働力の減少や、サービス利用者の減少など、様々なことに影響が出てくることが予想されます。

この現状を知った参加者の方々からは、今後の医療・介護従事者の人材確保への懸念や、かかりつけ医の大切さなど様々な感想が寄せられました。



地域と医療の未来を考える

今回の「地域と医療の未来を語るカフェ」は、福祉課・健康増進課・町立病院事務所の3課合同で主催し、各地区公民館等、全10会場合わせて約160名の方に参加いただきました。

参加者の方々の対話を通して20年前と今を比べてみると、地域も医療も様々な変化があったことがわかりました。

また、これは同時にこれから先の20年も様々な変化があることを表しています。

変わりゆく環境の中でどう行動するか、考えていく必要があります。



今回の参加者の方からは「これからもっと年をとったとき病院をどうするか。」「遠方に家族が居る人などのために、何かいざという時に、地域で動けるようにできないか。」など、未来への新しい課題が上がってきました。

自分のことだけでなく、子どもや孫といった家族のことや、生活を取り巻く地域のこれから先の未来を、様々な人との対話を通して一人ひとりが考える機会となりました。